

暑中お見舞い申しあげます。例年より早く到来した本格的な夏が連日連夜、自然の厳しさを感じる日々ですが、皆様如何お過ごしでしょうか。多大なご支援により再選頂いてから早四ヶ月。皆様感謝申し上げます。一方で、私の所属しておりました旧創志会は無念にも同志四名を失い、選挙の厳しさもひと味わかりました。しかし、新しい同志を迎えて「県政ながの」として新たな門出ができました。少人数ながら、議会・議員改革、地方自治進展のために、ひと味出せる会派活動を目指して参りたいと思っています。



ごあいさつ

金子 ゆかり
長野県議会議員
「県政ながの」諏訪支部長

五月臨時会に議長はじめ議会人事を決定し、六月定例会では、長野県北部地震の被害対応を中心に大型の補正予算を可決するなど議会活動も本格化して参りました。地震は松本でも被害をもたらし、今なお油断ならず危機管理体制の見直しをはじめ、その他医療、交通体系、教育等課題山積です。議員の原点に立ち、諏訪市、諏訪地域、長野県における安全で豊かな心地よい社会の実現のために、県や国の施策充実を求めて頑張りたいと思います。倍旧のご厚誼とご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。本年は特別な猛暑の夏、御身大切にお過ごし下さい。

5 月臨時会の議会報告

改選後の新しい顔ぶれ、新しい会派にて臨時議会が開催され、各会派構成と人事を決定しました。また、未曾有の大震災を受け、被災地の早期復興、産業界の停滞自粛雇用の不安感の払拭、電力需給の懸念などに全県で真剣に取り組むべく、「東日本大震災及び長野県北部の地震災害に対する緊急経済対策等の実施を求める決議案」を全会一致で決議しました。

危機管理建設委員会（常任委員会）で頑張ります

広報委員会委員を議長より委嘱されました。県民理解得るためにに重責です。



議長より諮問された「議会改革調査会」及び「選挙区・定数研究会」の委員にも就任しました。いずれも耳目集中の課題です。



新会派「県政ながの」を発足
政務調査会長に就任しました

顧問：高橋 宏（長野市）
会長：向山 公人（伊那市）
副会長：佐々木 祥二（駒ヶ根市）
幹事長：宮本 衡司（飯山市）
総務会長：鈴木 清（長野市）
政務調査会長：金子 ゆかり（諏訪市）

新しい正副議長です。
知事と並ぶ県民代表として議会の
リーダーシップを期待します。



議長（写真中）は村石正郎氏（須坂市、自民党県議団）副議長（写真右）は竹内久幸氏（長野市選出、改革・新風）を選出。

意見書を国へ送りました

被災者の生活再建、原発事故の速やかな収束。海外誘客の回復、自粛ムードの解消など補正予算の速やかな執行を求めて「政府の強いリーダーシップのもと、東日本大震災及び長野県北部地震からの復興を求める意見書」を可決しました。



ゆかりんの県政報告



一般質問に登壇（持ち時間は七分）
一、東日本大震災の中期総合計画や財政への影響について
二、事業仕分けの準備状況についてなどを質問しました。

震災後初めてとなる6月補正予算案を審議しました。補正額は147億4664万7千円。長野県北部地震の被災者への見舞金、復興住宅建設、被災道路、農地、施設などの復旧支援62億円余。東日本大震災への支援約4億円、中小企業融資制度資金拡充46億円余。雇用創出基金12億余も活用し、公共施設耐震対策、企業の省エネ対策支援や自然エネルギー普及モデルの検討、観光プロモーションなど、その多くが震災関連と震災に触発された県民要望を斟酌した事業と受け止めました。

委員会 …本年度所属する委員会での金子ゆかりの発言より…

- 東日本大震災により、国交省の予算が15%執行停止されているが、長野県は被災県であり、災害復興など非被災県と同じ扱いでは困る。
→災害対策については、国と調整してしっかり対応する。
- 長野県は新潟の刈羽、静岡の浜岡原発から数十kmにある。放射性物質汚染や避難、様々な被害想定に対する準備は？
また、大震災の他県の例、県内でも液状化が懸念される。土砂災害特別計画区域のように、警戒区域指定ができないか。また、液状化したときの避難方法や避難準備など事前に周知、指導が必要と思うが。
→他県と連携をとりながら、現在庁内ワーキンググループで課題の見直しを始めている。市町村実務担当者とも意見交換し、24年度スタートの新しい防災計画に盛り込む。
- 浅川の内水対策は被害予想350戸程で排水ポンプを3基設置する計画だが、諏訪市の平成18年災害での床上下浸水家屋は2541戸、560haだった。県の排水ポンプ車2台は飯田と飯山にある。せめて駒ヶ根の国交省天竜川上流事務所の所管する何台かを諏訪に常駐できないか。
→国などと相談研究する。
- 県管理河川内の葎などの繁茂や堆積土除去など維持管理の要望が多いが、十分な予算確保ができていないのか。
→予算獲得の応援をしてほしい。
- 県建設労連などから公契約条例の要望がでるなど、建設業の現場は厳しい状況が伺える。下請けの従事者にまで適正対価が支払われる為に、入札制度が改革において落札価格への更なる工夫が必要ではないか。
→研究していきたい。



意見書を国へ提出しました

- 東日本大震災からの復興に向けた補正予算の早期成立等を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 当面の電力需給対策に関する意見書
- 被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見
- 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書（委員会発議）
- 新たな教員定数改善計画案の着実な推進を求める意見書（委員会発議）
- 免税軽油制度の継続を求める意見書（委員会発議）
- 地方消費者行政に対する実効的支援を求める意見書（委員会発議）

その他、7月に松本市で開催される国連軍縮会議開催の支援、諏訪児童相談所の移転改築の設計予算、その他条例改正や監査委員の選任等26議案を可決承認しました。

各委員会でも、病院、学校などの危機管理体制の見直し、電力不足を想定した産業界への影響、発電所の民間譲渡計画の今後など、震災に起因する課題のほか、地域医療再生計画、武道教育、リニア、F D Aなどの交通政策などが取り上げられました。



議会運営委員会にて、省エネ、節電への対応として、議会棟での上着、ネクタイを着用しないことを可とし、議場では上着を着用することと決めました。女性はその準じた服装となります。



選挙区・定数研究会

前議会において、改選後に申し送りとした研究会を発足しました。昨年実施された国勢調査の結果、一票の格差は最小選挙区の東筑摩郡を1.0として最大は諏訪市2.2倍です。自治法の議会定数の上限撤廃や、議員活動の実態など課題を整理して議論し、27年の改選期を視野に、概ね二年間でまとめ議長に報告する予定です。

政務調査費（平成22年度＋前任期分）を公表します

政務調査費（創志会）を公表しました。

平成22年度	
創志会総額	32,158,395 円（内公費充当額 31,232,000 円）
諏訪支部	3,011,578 円（内公費充当額 2,488,000 円）
23年4月分	
創志会総額	2,548,741 円（内公費充当額 2,548,741 円）
諏訪支部	205,039 円（家公費充当額 205,039 円）
不要額	61,259 円を県に返還

- 総合安全保障問題調査議員連盟（幹事）
- がん征圧議員連盟（副会長）
- 水産業振興議員連盟（理事）
- 園芸振興対策議員連盟（会長）
- 総合農政対策議員連盟（会長）
- スポーツ振興議員連盟（幹事）
- 国際協力促進議員連盟（会長）
- 日本会議議員連盟（会長）
- 文化芸術議員懇談会（幹事）
- 観光議員連盟（会長）
- 消防議員連盟（会長）
- 地域経済活性化議員連盟（副幹事長）
- 山岳環境保全対策議員連盟（理事）
- スカウト運動振興議員連盟（幹事）
- 日韓親善促進議員連盟（会長）
- リニア中央新幹線建設促進議員連盟（会長）
- オイスカ議員連盟（幹事）
- 日中友好促進議員連盟（会長）
- 豪雪対策促進議員連盟（会長）